

今月の行事予定

4・11・19・25日 礼拝 8・25日以上児参観日
発育測定(13日 ほし・いちご 14日 もも・うさぎ
15日 あひる・ひよこ)

11日 避難訓練 15日 交通教室

20日 クッキー作り 21日 誕生会

20日 延長保育なし(18時までにお迎え)

26日 集金引落



社会福祉法人 であいの里 さやま保育園
2022年 7月1日

**保育目標 照育 一おそだて一
*ほとけさまや、周りの人たちにありがたうの感謝の気持ちを持つ。
*体を十分使って、水遊びや夏のあそびを友だちと楽しむ。

【法話】

お経

「きーみょーうむーりょーうじゅによらいー
なーもーふーかーしーぎーこー」

6月末より、全国各地で例年より早い梅雨明けが続
き、暑い夏が始まりました。コロナ対策のマスクも少し
ずつ制限解除されつつあるようですが、公の指示のある
所では、それに従い、ない所では、それぞれの判断で、
他人に強制強要すべきものではないと思っています。ワ
クチン接種不接種も個人的コロナ感相違の問題ですか
ら。

保育園は、公・集団生活の場として考えながらお願い
していきたく思っています。

毎週月曜日の礼拝では、「お正信偈」の最初の二句を歌
にした「幼児のおつとめ」を、みんなで大きな声で、お
つとめしています。

「お経」って何でしょう？お経は亡くなった人のため
に読むとか、お経を読むと良いことがあると思ってい
る人がいますが、そうではありません。コロナに罹らない、
治る訳でもありません。お経は、呪文でも、おまじない
でもありません。

お経は、お釈迦さまのお話しされたことを、あとに残
すために、後の人たちが、文字を作り、文字にしてくだ
さったものです。お釈迦さまは、今から二千五百年の
昔、老若男女、いろいろな人々に、たくさんのお話をさ
れました。その仏さまのお話、真実の教えが説かれてい
るのがお経なのです。生きている私のための教えが説か
れているのですから、私が聞かせていただかなくては意
味がありません。でも漢文に訳さえたお経は難しいです
から、私たちは「ご法話」を聴聞してお経のお心を聞か
せていただきます。

お経を仏さま(阿弥陀如来さま)に向かって読むのは、
仏徳讃嘆です。阿弥陀さまのお徳を讃嘆(ほめたたえ)
させていただき、お経のお心をいただきましょう。

合掌

「笑って学ぶ子育てのコツ」

岩城先生の楽しい子育てのお話は、肩の荷が下り、子
育てすることに元気をいただけたのではないのでしょうか？
子育ては、父親と母親だけの役割ではありません。昔か
ら日本では、子育てを群れでする文化でした。ドジや失敗
をしながら、自分のできることで協力しながら、助け助けら
れて子育てをしてきました。「我が子が幸せに生きるため
には、我が子のまわりも育てあうこと」を大切にしながら。

今は、保育園が子育て応援団の仕事させていた
いでいます。異年齢の子どもたちが、「よく見て」「よく聞い
て」「よく真似て」、育ち合っていく場が保育園です。未満
児の子どもたちでも、朝夕の合同保育では、2歳児の子
が、泣いている0,1歳児をあやしてくれます。今年から
年中年長が異年齢で過ごすようになりました。さらに運動
会会議が始まり、年長児が、手を挙げて発言する姿を見
て、年中児も真似て、発言する姿が見られます。「みんな
に話を聞いてもらうって難しいね、先生ってみんなに話す
からすごいね」と話す年長児。先生の姿を見て真似て、
育とうとしています。

保育園で遊んでいると、喧嘩やトラブルも起こってき
ますが、それも子どもたちの人生の練習問題と思いましょ
う。「助けて」「ごめんね」のアイテムを使いながら、乗り越
えていける解決策(問題解決能力)を自分で見つけ出せ
るよう、見守っていきたく思います。

岩城先生も、「生まれてきたことを喜び、与えられた能
力(好きなこと・得意なこと)を伸ばして、自分と自分のま
わりのために使うそんな子どもたち。日本の未来、世界の
未来を作っていく子どもたちを、いっしょに保育園と育てて
いきたいと思います。」と仰っていました。

さやま保育園には、岩城先生から紹介された子ども
たちが育つ、遊び込めるおもちゃがたくさんあります。頭や身
体を使って子どもを育てる本物のおもちゃです。園庭や
広場にも、子どもが主体的に知的好奇心を働かせて、遊
び込める工夫でいっぱいです。どんなことでも、保育園の
先生に聞いてみてください。お子さまの不安なこと心配な
こと、お家でうれしかったこと楽しかったこと、何でも語り合
い助け合い、いっしょに楽しい子育てをしていきたいと思います。

